

運審連委員 サロン

天は西藤島に微笑んだ!

西藤島公民館運審委員長 谷口 晴伸

4月、ファミリーウォークが開催されました。前日は雨、当日明け方には雨も上がり、陽ざしも見えてましたが、役員の集合時には急に雨!しかし、その雨も10分ほどでやみ、一般受付時以降は晴れ時々曇りのウォーキングには絶好の日和になり、140名ほどの参加者は一人の落伍者もなく、8kmの道のりを元気に歩き、史跡巡りを楽しみました。休憩所の「スウェッジガーデン」では、ふじの会の皆さんが作ってくださった桜餅をおいしくいただき、元気を取り戻して公民館まで帰りました。



参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした。ちなみに、解散後の午後2時前には再び少し強い雨が降りました。今回は天気もファミリーウォークを応援してくれました。

朗読会

東郷公民館運審委員長 佐々木 雅代

東郷公民館の人材育成事業で仲間になった方々と、ほんの軽い気持ちで提案した朗読が、今では私自身の楽しみになっています。

朗読会は怪談から始めました。東郷には幽霊の掛け軸を宝物とし、まさしく怪談の伝承がある古いお寺があります。その本堂をお借りして行いました。晩夏の宵闇、灯はろうそく一本の演出は、なかなか好評でした。見渡せば、良い舞台が見つかるもの。福井ふるさと茶屋の「杵と臼」が稼働してからは『観月の夕べ』と銘打って、中秋の名月に合わせて「竹取物語」「今昔物語」や藤沢周平の名短編などを読んでいます。



令和5年度運審連 役員は次の方々です

役職名	氏名	ブロック	公民館	所属委員会	役職名	氏名	ブロック	公民館	所属委員会
会長	◎田安 敏男	川西	大安寺	統括	理事	谷口 晴伸	九頭竜	西藤島	広報
副会長	坂井 国夫	あたご	足羽	広報編集委員長	//	清水 正寛	九頭竜	中藤島	調査研究
//	◎中川 治	足羽	文殊	調査研究委員長	//	坂本美佐代	光	清水南	広報
理事	田村 洋子	あたご	豊	広報	//	岩堀 匡孝	光	清水北	調査研究
//	藤田 和也	あたご	湊	調査研究	//	水上日出美	川西	国見	広報
//	増永 秀則	不死鳥	宝永	広報	//	清水 正明	川西	鶉	調査研究
//	松平 久芳	不死鳥	日之出	調査研究	//	佐々木雅代	足羽	東郷	広報
//	山田 眞一	みなみ	清明	広報	//	内倉 達也	足羽	美山	調査研究
//	笈田 淳一	みなみ	社北	調査研究	監事	舟木 幸雄	不死鳥	春山	広報
//	南出 吉彦	あずま	和田	広報	//	小鶴 敬司	みなみ	東安居	調査研究
//	前田 裕之	あずま	啓蒙	調査研究					

◎ 新任

編集後記

今回の「絆」第72号はメンバーが新しくなった広報委員会の発行する初めての広報誌です。コロナ禍も一応の落ち着きを見せ、各地区での活動も活発となってきているなか、新会長はじめ各地区の皆様の活動等多くの寄稿をいただき充実した内容とすることができました。編集に御協力をいただいた広報委員の皆様、寄稿をいただいた皆様に感謝申し上げます。



2023年(令和5年)10月6日発行

運審連だより
きずな

第72号

福井市公民館運営審議会連絡会

事務局 中央公民館内
福井市手寄1-4-1 アオッサ5階
TEL20-5459・FAX20-1538



(旧国見公民館を再活用した水族館)

くみクラゲ公民館

会長就任あいさつ

福井市公民館運営審議会連絡会会長
大安寺公民館運審委員長
田安 敏男



前任の酒井憲俊会長が大安寺公民館館長に就任されたことにより、新たに連絡会会長に就任することになりました川西ブロック大安寺公民館運営審議会委員長の田安です。任期は前任会長の残任期間ということで令和5年度1年間になります。

さて、3年以上に及ぶコロナ禍の影響で公民館活動も多大な制約を受け、長期間、限定的な活動に制限されてまいりました。本年5月、新型コロナ感染者数も一応の落ち着きを見せ、法の分類も2類から5類に変更され、行動制限が解除されました。しかし、長期間にわたる公民館活動の制限は地域住民の意識を委縮させ、公民館活動に参加する住民の人数も減少してきています。こうした状況下において各方面から委嘱されている運審委員が公民館と一体になり、活動を活性化させていくことが重要であります。

当連絡会におきましてはこうした観点から、運審委員の意識高揚、資質向上を図るために研修会等を開催するほか市公連と連携を密にしながら住民のための活気ある公民館実現を目指していきます。関係各位のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

副会長あいさつ



本年、運審連副会長を務めることになりました。田安会長、坂井副会長とともに、運審連の事業が一層充実するよう心掛けてまいります。公民館に関する課題はいつの時代も生じるものですが、公民館がこれから地域社会で果たす役割、公民館施設の充実、公民館の職員の待遇、そして運審委員の役割といったことが、ここ数年問われているように思います。少しずつでも改善点が見えてくるよう皆様のお力をお借りしながら進んでまいります。

足羽ブロック文殊公民館運審委員長 中川 治

令和5年度 運審連総会・研修会の報告

宝永公民館運審委員長 増永 秀則

去る5月20日午前10時からアオッサ8階「福井県民ホール」を会場に令和5年度運審連総会・研修会が開催されました。

冒頭で令和4年度の酒井会長の挨拶ののち東村市長・中村市公連会長が挨拶され、林教育部長や高比良生涯学習課長が紹介されました。

コロナが5類へ移行し人数制限なしの開催となりましたが、令和4年度の社会教育功労者表彰の受賞者報告や橐公民館委員長の村島議長の進行で各種報告がなされ、賛成多数で可決しました。また、役員改選では田安会長、中川副会長の紹介がありました。

その後、11時からの運審委員研修会では、一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸己氏を迎え「地域の支え合い活動を広げるために～みんなで創る新しい支え合い・助け合い社会～」をテーマに講演していただきました。

子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、支え合いのしくみづくりをすすめるための拠点の作り方など事例を交え、お話いただき、今後の生き方などの参考とすることができました。あっという間の1時間でした。

ありがとうございました。



公民館活動紹介



和田公民館(あずまブロック)

運審委員長
南出 吉彦

「和田発展不已」(わだはってんやまず)を合言葉に子どもから高齢者まで幅広い世代の地区民が7つの輪【地域みんなで助け合いの輪(防災)、きれいなまち並み緑の輪(美化)、みんな生き生き元気の輪(健康増進)、楽しく暮らせる福祉の輪(福祉)、見守りてつなぐ安心安全の輪(安心・安全)、共に育む学びの輪(教育・文化・歴史)、笑いあふれる交流の輪(交流)】でつながるまちづくり活動で、この先「住みやすいまち・活気あるまち」を目指しています。

最近には主に日本固有の在来種「赤大豆」を和田地区の特産品にしようと取り組んでいます。「赤大豆」は美味しく、美容にも良いとされる3種のアミノ酸(グルタミン酸、アスパラ酸、リジン)が、一般的な大豆の3倍以上もあります。地区の方々と一緒に説明会や赤大豆の枝豆などを提供もしましたし、親子で植ええやさやし活動も行いました。また、和田地区の喫茶店では赤大豆のデザートを作って販売し好評でした。

地区の誰もが気軽に参加できる楽しい活動となっています。地域の中で赤大豆生産が広がり、商品化などにも取り組むことで、和田地区の特産品を目指しています。



清明公民館(みなみブロック)

運審委員長
山田 真一

【SDGsで環境にやさしい地区も】

清明公民館は、「持続可能な開発目標=SDGs」に取り組んでいます。福井県の公民館で最初に「ふくいSDGsパートナー」に登録しました。

特に各家庭から出る生ごみを、燃やさずに再利用することで二酸化炭素を抑え、地球温暖化対策に貢献しています。具体的には、各家庭から出る生ごみを回収し、それを生ごみ処理機で処理をして、肥料とし畑に撒きます。その畑で収穫した野菜は、公民館で安く地区住民に販売しています。この活動を通じて、地区住民が少しでも「SDGs」に関心を持って行動してくれることを期待します。

小さな取り組みですが、まずは行動を起こすことがとても大事だと思います。地区住民で協力することで、大きな行動につながっていくことでしょう。

今後も「SDGs」に関心を持つ人が増えるように「SDGs」を取り入れた活動を増やしていきたいと思っています。



登録証

野菜を販売しているところ

コンポストを回収しているところ